



園生活に慣れて笑顔が増えて来ましたね！

はじめとした梅雨の季節が、目前までやってきました。気温の上下とともに、湿度も上がるため、熱中症へのリスクが高くなります。こまめに水分補給を行いながら、元気に過ごしてほしいです。

4・5月は、気候的に『快』の感覚から、梅雨の『不快』というものを感じるようになります。体全体で『感じる』はとても大切なことですが、健康に過ごすにはどうすれば良いのかなどを子どもたちと一緒に考えながら『快も不快』も感じつつ、両方の感覚を楽しみながら過ごせたらと思います。

6月の園庭開放のご案内

6月 26(水) 10時30分から11時30分

* 気温が高くなると、水の感触が楽しくなります。水遊びに発展することもありますのでタオルや着替え、サンダルをご用意ください。

※雨天時は遊具が濡れ、足下が滑りやすくなりますので、園庭開放は中止させていただきます。

園では、戸外に出る場合は暑さ指数を確認し、数字が高い場合は、熱中症予防の為、戸外遊びを控えています。園庭開放をご利用していただく際に、ご家庭でも暑さ指数をご確認いただき、熱中症対策を行ってください。暑さ指数が高い日の園庭開放のご利用は、保護者の方の判断に委ねますが、危険を感じる場合は、園庭開放を中止あるいは、早くに終了する場合がございます。

※子どもたちの安全のために履き慣れた靴と、熱中症や日焼け防止の為に帽子を被って来てください。

遊具で安全に遊ぶために、紐付きの上着やズボン等は避けてください。

※遊びながら、水分が補給できるように水筒などをご用意ください。

※車で来園はご遠慮ください。できるだけ自転車や徒歩でお越しください。

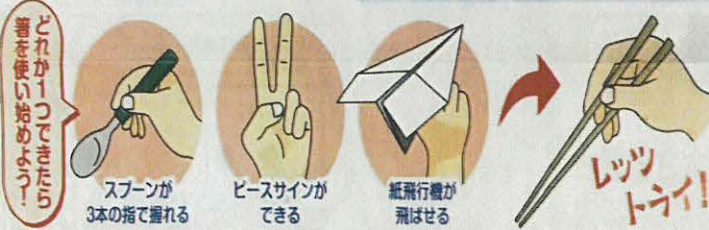


箸はいつから持ち始めるの？

子供の手は、手の中にある骨が成長していない為、細かい動きができません

2~3才くらいになると手根骨ができ始め、だんだん細かい指の動きができるようになります。

手の骨の成長時は特に強制的に持たず(矯正)ではなく、自然に手になじむ箸を渡らせてあげてください。



どれか1つできたら箸を使い始めよう！

スプーンが3本の指で握れる

ピースサインができる

紙飛行機が飛ばせる

レッツトライ！

お箸を持つ位置は？

お箸の正しい持ち方

左ききの人の正しい持ち方



持ち方も大切ですが持つ位置も重要なポイントです。
※正しい位置で持っていないと箸を持つ位置の移動が多く見た目も悪く、食事に時間がかかります。

持ち方動画はこちら

YouTube



《歯と口の健康週間！》

虫歯予防は、幼いころからの歯磨き習慣づくりがカギだと言われています。歯や口について楽しく知る機会をつくることで、子どもたちは、自発的に歯磨き、歯と口の健康づくりに取り組んでいけます。虫歯予防デーを利用して、楽しみながら子どもたちの意識を高めていきましょう。

歯磨きのコツ！

- ①歯ブラシを使って歯と歯茎の境目にやさしく当てましょう。少し斜めにしておくと良いです。
- ②小さな円を描くように、ゆっくりと動かします。力を入れすぎず、優しく磨くことが大切です。
- ③1つの場所を磨いたら、隣の歯に移動し、同じように磨きます。すべての歯を磨くことが大切です。また、食後30分はあけて歯を磨くことや、フロスや歯間ブラシを使うタイミングにも注意しましょう。

歯を見せて 笑える今を 未来にも

